

Zabbix 5.0 最新情報の ご紹介

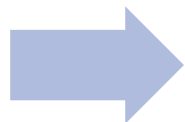
SRA OSS, Inc. 日本支社
OSS事業本部 技術部 基盤技術グループ
赤松 俊弘

セミナー概要

Zabbix 4.2 から 5.0 までに追加された
新機能についての解説

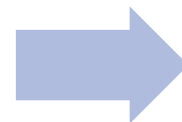
Zabbix 4.2

- 保存前処理の拡張
- Prometheus
インテグレーション
- TimescaleDB
- ...



Zabbix 4.4

- Zabbix agent 2
- Webhook による
通知
- グラフでの集約関数
- ...



Zabbix 5.0

- フロントエンド改善
- トリガー条件式での
文字列比較
- アイテムのテスト
- ...

whoami

- ✓ 赤松 俊弘 (Toshihiro Akamatsu)
- ✓ SRA OSS, Inc. 日本支社
OSS 事業本部 基盤技術グループ

職務

- ✓ PostgreSQL 以外の OSS 全般の技術サポート、構築
- ✓ 主に Zabbix を担当

Zabbix 5.0 の基本情報

Zabbix 5.0

- 2020/05/12 リリース
- LTS (Long Term Support) 版



ソフトウェア要件 – Database –

	Zabbix 4.0	Zabbix 5.0
MySQL	5.0.3 以降	5.5.62 - 8.0.x
Oracle	10g 以降	11.2 以降
PostgreSQL	8.1 以降	9.2.24 以降
IBM DB2	9.7 以降	サポート削除
SQLite	3.3.5 以降	3.3.5 以降
TimescaleDB	-	1.0 以降 (OSS 版)

ソフトウェア要件 – Frontend –

- PHP 7.2 以上が必須
 - RHEL 7、CentOS 7 の場合は注意

RHEL/CentOS 7 frontend installation

https://www.zabbix.com/documentation/current/manual/installation/install_from_packages/frontend_on_rhel7

- Internet Explorer 11 のサポート削除

Zabbix Agent

Zabbix Agent 2 4.4

Go 言語で開発された新しい Zabbix Agent

- 監視の高い並列実行性
- プラグインによる拡張容易性
- TCP 接続数の削減
- 現行の Zabbix Agent の機能は全て踏襲
- アクティブチェックの監視間隔カスタマイズが可能
- 現行の設定ファイルとほぼ互換性あり

キーのホワイト / ブラックリスト 5.0

- **AllowKey=<pattern>**
- **DenyKey=<pattern>**

```
AllowKey=vfs.file.*[/var/log/*]
```

```
AllowKey=system.localtime[*]
```

```
DenyKey=*
```

アイテム

アイテムのテスト機能 5.0

有効 ☒

更新
複製
テスト
削除
キャンセル

アイテムのテスト

ホストから値を取得 ☒

ホストのアドレス

127.0.0.1

ポート

10050

プロキシ

(プロキシなし)

値

800624640

✎

時間

now

前の値

値

✎

前の時間

行末文字列

LF

CRLF

保存前処理の設定

名前

1: 差分

結果

値の取得

値の取得とテスト

キャンセル

データベース監視

db.odbc.get の追加 4.4

- 複数行および列を JSON 形式で取得
➡ 必要なデータを一括取得、依存アイテムで個々を抽出

接続文字列パラメータの追加 5.0

- db.odbc.*[<説明>, <データソース>, **<接続文字列>**]
➡ 接続情報を /etc/odbc.ini もしくは接続文字列で設定

```
db.odbc.get[test,,"Driver=/usr/local/lib/libmyodbc5a.so;Database=test;Server=127.0.0.1;Port=3306"]
```

Web 監視

ヘッダの要求文字列 4.2

- ヘッダ内の要求文字列を正規表現で設定可能に

取得モードの変更 4.2

リダイレクトをたどる ☐

ヘッダーのみを取得 ☐

* タイムアウト



リダイレクトをたどる ☐

取得モード ボディ **ヘッダー** ボディとヘッダー

* タイムアウト

Web 監視、HTTP エージェント

Kerberos 認証サポート 4.4

シナリオ ステップ 認証

HTTP認証 Kerberos ▼

ユーザー

パスワード

SSLピア検証 ☐

SSLホスト検証 ☐

SSL証明書ファイル

SSL秘密鍵ファイル

SSL秘密鍵パスワード

追加 キャンセル

その他

4.2

- net.dns、net.dns.record の IPv6 サポート
- vmware.eventlog に skip パラメータ追加

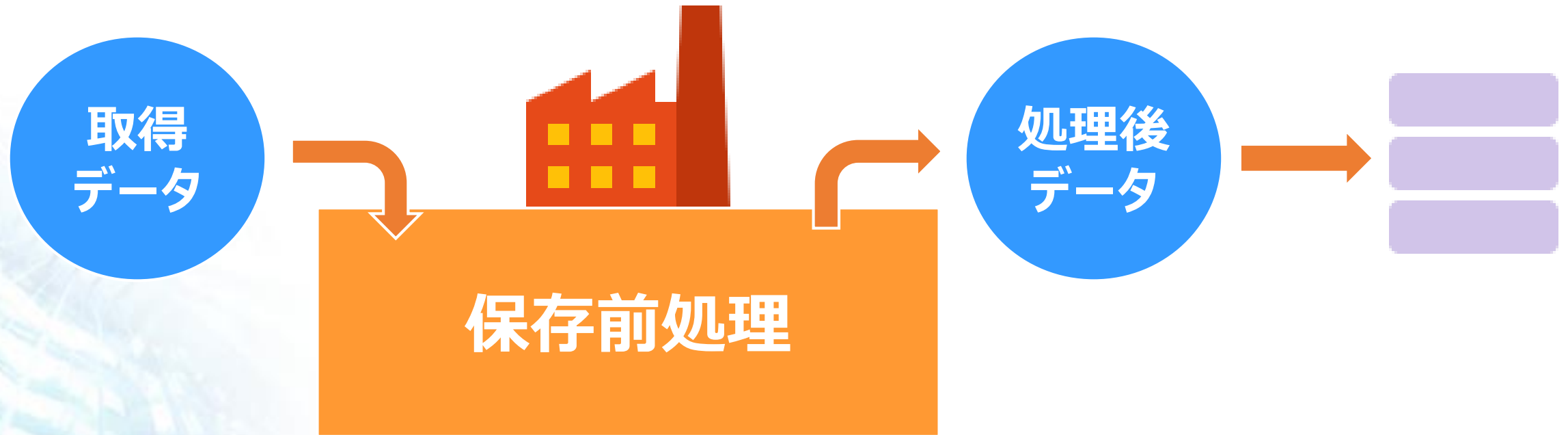
5.0

- キーの文字列長が 256 から 2048 に拡張
- 数値（浮動小数）型が 15 桁、 $-1.79\text{E}+308 \leq 1.69\text{E}+308$ に拡張（PostgreSQL 11 以下は除く）
- zabbix[stats,<ip>,<port>] および zabbix[version]での Zabbix サーバおよびプロキシのバージョン取得
- jmx アイテムでの表形式データのサポート

保存前処理

保存前処理 3.4

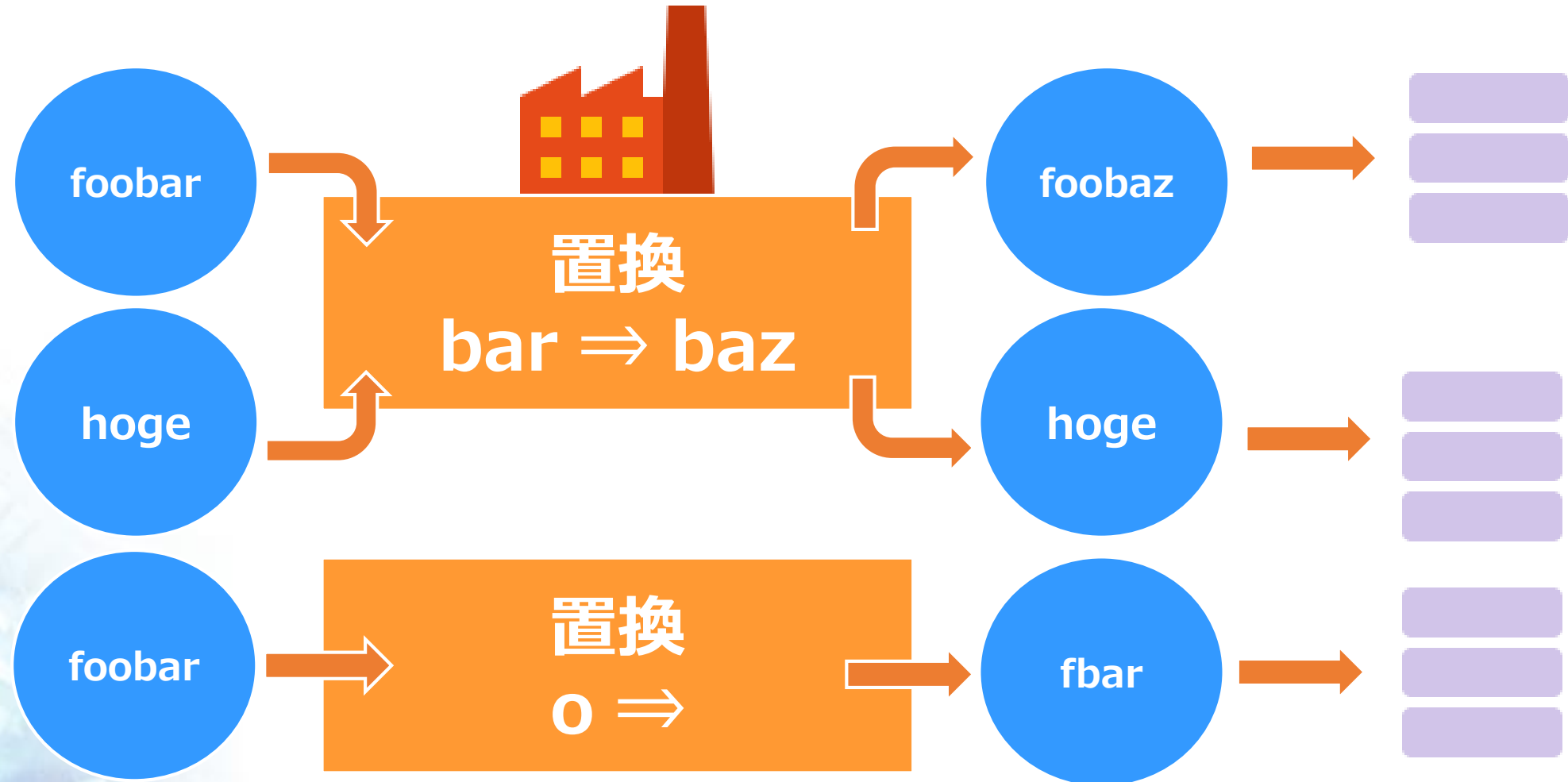
取得したデータを加工して保存



保存前処理の種類

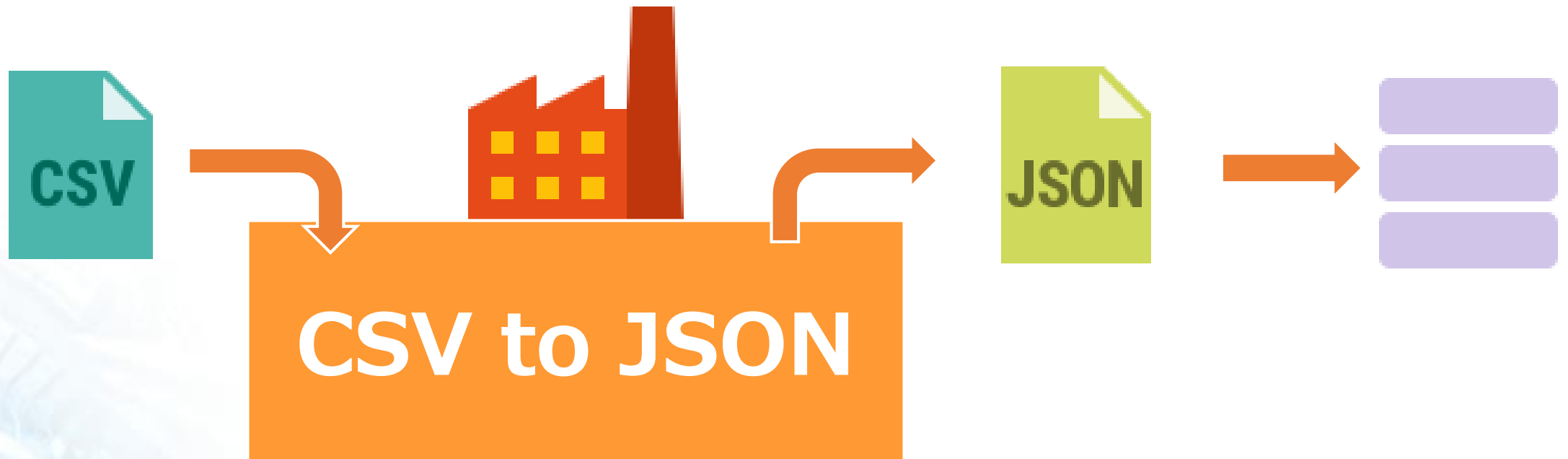
- **テキスト**
 - 正規表現
 - 置換 **5.0**
 - 前後文字列削除
 - 末尾文字列削除
 - 先頭文字列削除
- **構造化データ**
 - XML Xpath
 - JSONPath
 - CSV から JSON **4.4**
- **計算**
 - 乗数
- **変化**
 - 差分
 - 1 秒あたりの差分
- **数値変換**
 - 論理値から 1 0 進数
 - 8 進数から 1 0 進数
 - 1 6 進数から 1 0 進数
- **カスタムスクリプト** **4.2**
 - JavaScript
- **バリデーション** **4.2**
 - 値の範囲
 - 正規表現と一致する
 - 正規表現と一致しない
 - JSON内のエラーチェック
 - XML内のエラーチェック
 - 正規表現使用時のエラーチェック
- **絞り込み** **4.2**
 - 変化がなければ破棄
 - 指定秒数に変化がなければ破棄
- **Prometheus** **4.2**
 - Prometheusパターン
 - Prometheus から JSON

テキスト -置換- 5.0



構造化データ -CSV から JSON-

4.4



カスタムスクリプト –JavaScript– 4.2

保存前処理の設定

名前	パラメータ	失敗時のカスタマイズ	アクション
1: JavaScript	スクリプト	☐	テスト 削除

追加

更新 複製 監視データ取得 削除

パラメータに
スクリプトを直接入力

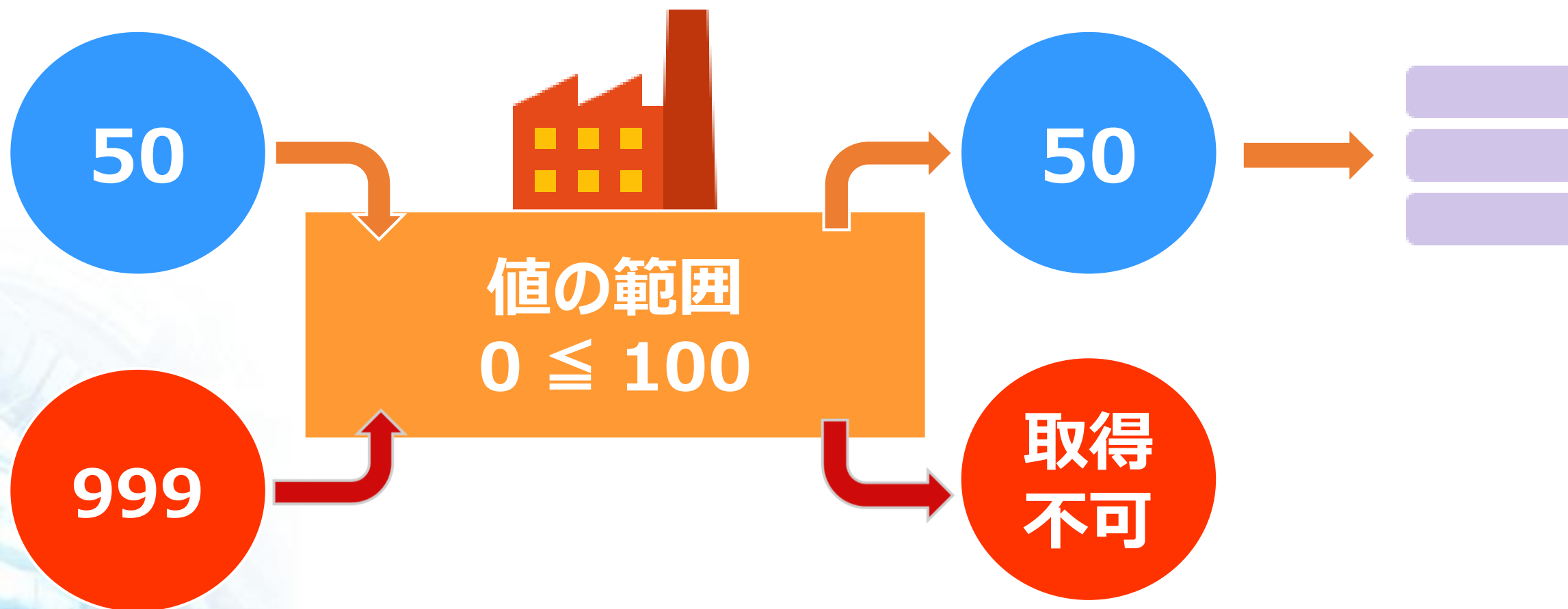
JavaScript

```
function (value) {  
  1 var databases = [];  
  2 var lines = value.split('\n');  
  3  
  4 databases = lines.slice(2,-1).map(function(value, index) {  
  5     var ret = {};  
  6     ret['{#DATABASE}'] = value.replace(/ /g, '');  
  7     return ret;  
  8 });  
  9  
 10 return JSON.stringify(databases);  
}
```

カスタムスクリプト –JavaScript– 4.2

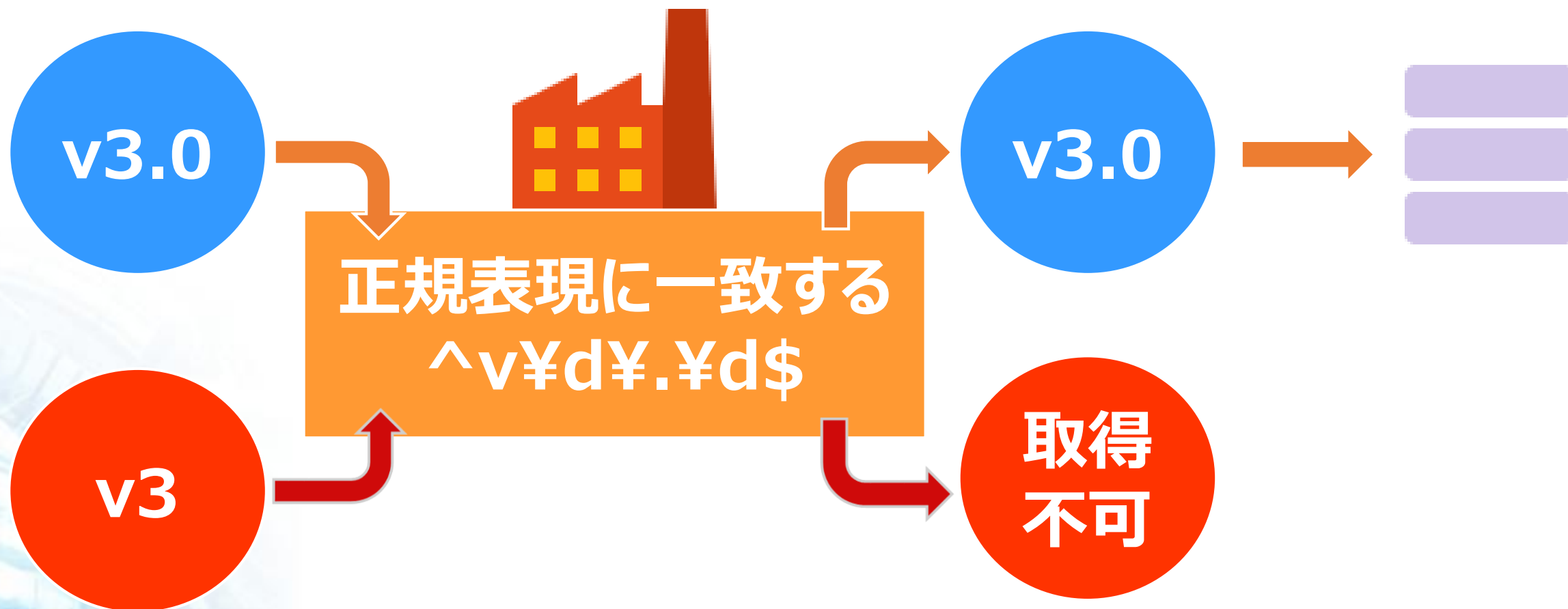


バリデーション -値の範囲- 4.2

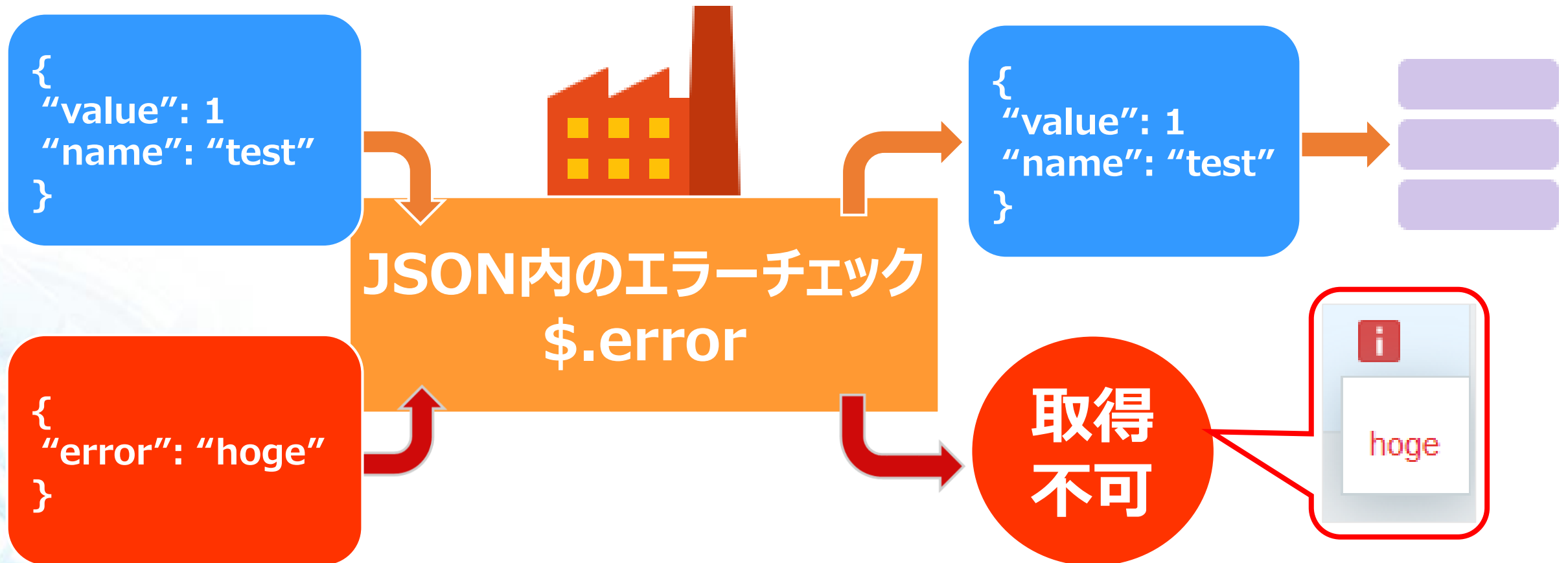


バリデーション -正規表現に一致する/しない-

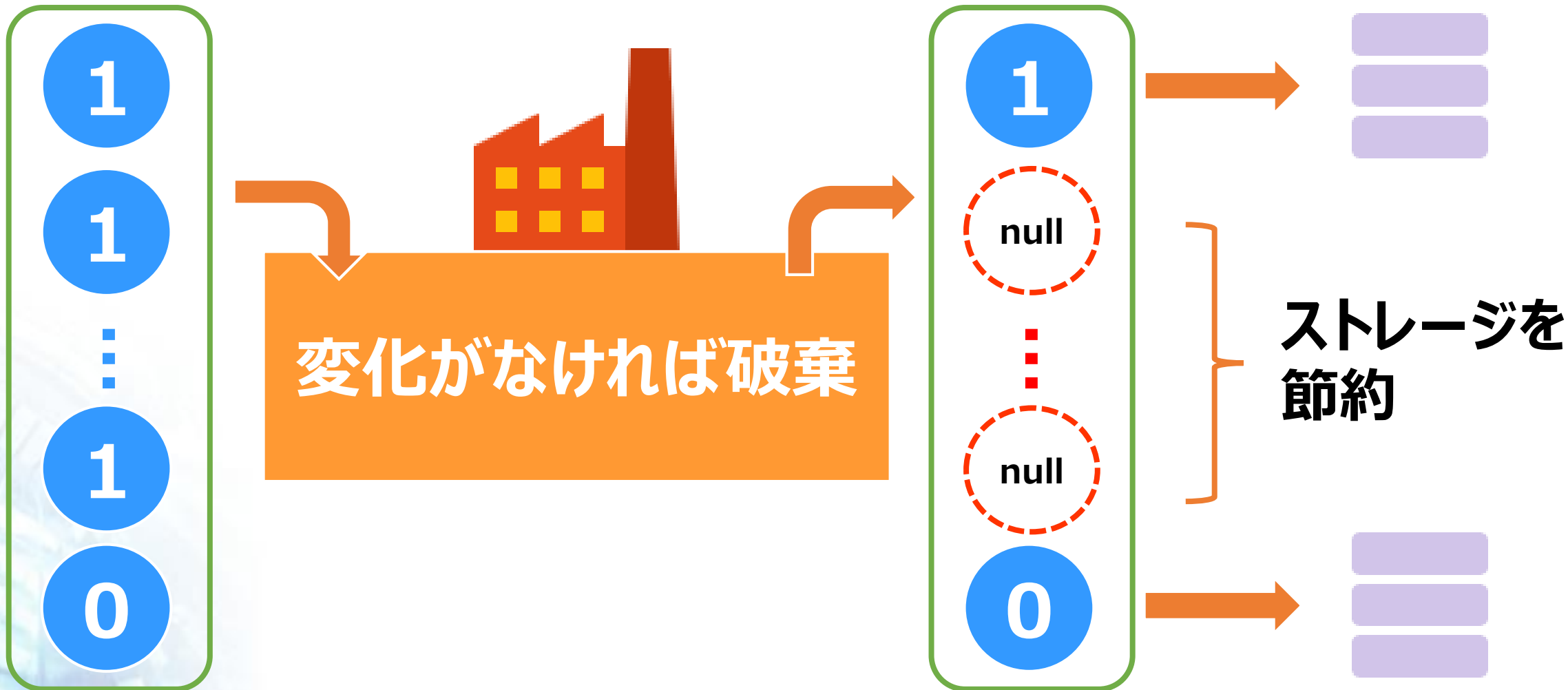
4.2



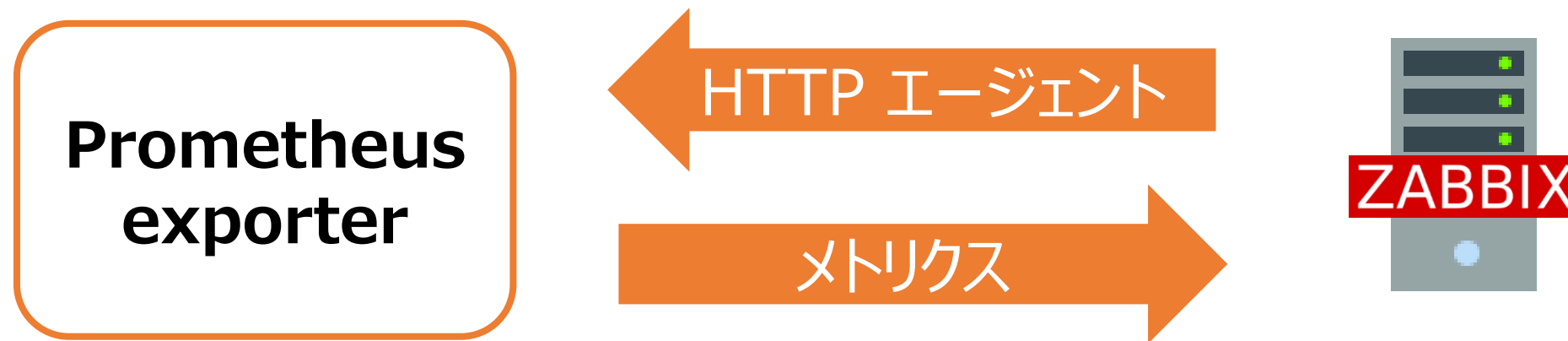
バリデーション -エラーチェック- 4.2



絞り込み -変化がなければ破棄- 4.2



保存前処理 –Prometheus- 4.2



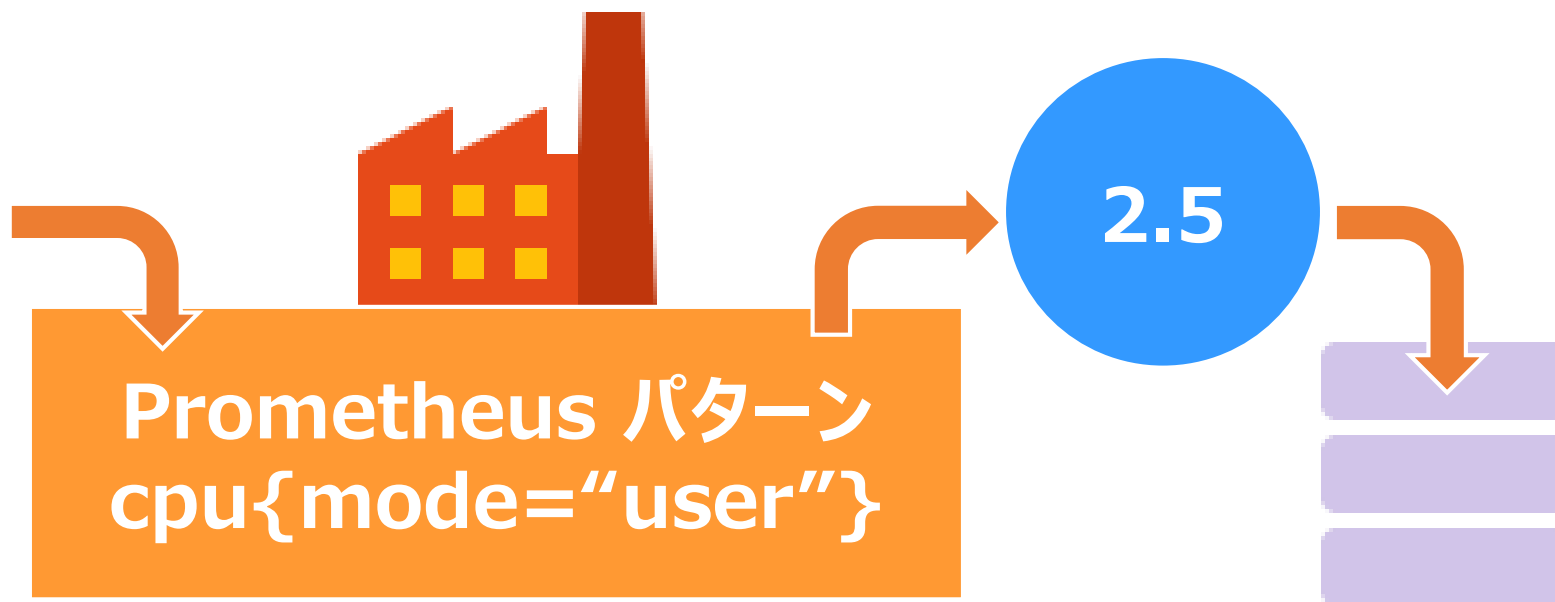
exporter の出力

メトリクス名{ラベル名="ラベル値",...} メトリクス値
メトリクス名{ラベル名="ラベル値",...} メトリクス値
メトリクス名{ラベル名="ラベル値",...} メトリクス値
...

Prometheus -Prometheus パターン- 4.2

Prometheus のメトリクスから特定の値を抽出

```
cpu{mode="sys"} 0.2  
cpu{mode="user"} 2.5  
cpu{mode="idle"} 95.2  
...
```



Prometheus -Prometheus から JSON-

4.2

メトリクス ⇒ JSON ⇒ LLD マクロ ⇒ LLD ルール

```
cpu{mode="sys"} 0.2  
cpu{mode="user"} 2.5  
cpu{mode="idle"} 95.2  
...
```

Prometheus から JSON
cpu

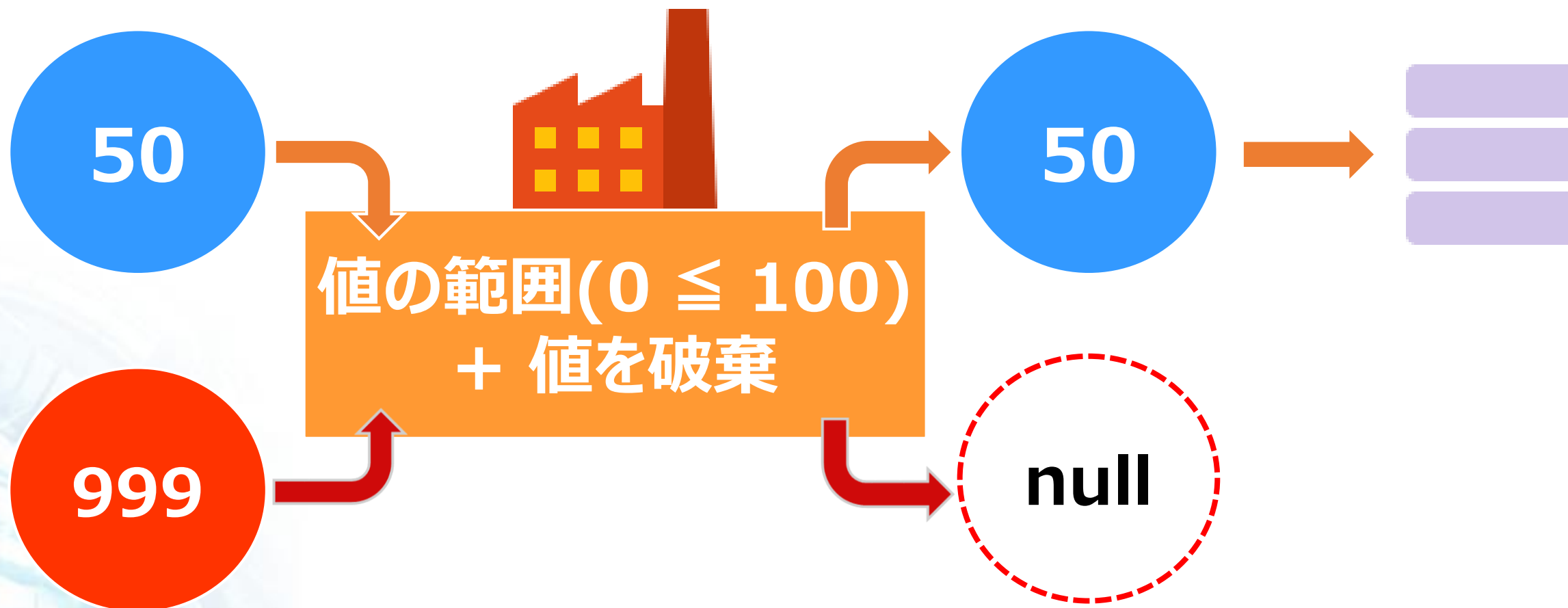
```
[  
  {  
    "name": "cpu",  
    "value": "0.2",  
    "line_raw": "cpu{cpu=mode=¥\"sys¥\"} 0.2",  
    "labels": {"mode": "sys"},  
  },  
  {  
    "name": "cpu",  
    ...  
  },  
  ...  
]
```

失敗時のカスタマイズ 4.2

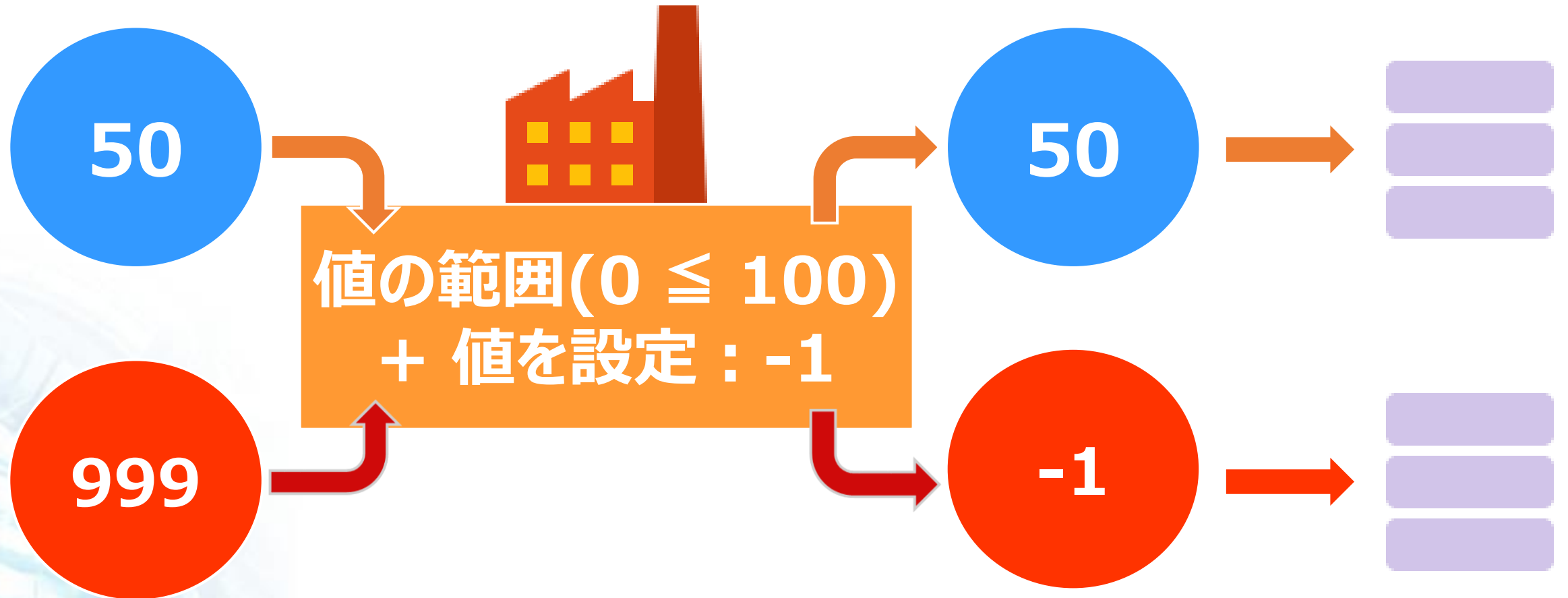
保存前処理の設定	名前	パラメータ	失敗時のカスタマイズ	アクション
1:	値の範囲	最小	最大	
	失敗時のカスタマイズ	値を破棄	値を設定	エラーを設定

保存前処理でエラーが発生しても
取得不可にしない

失敗時のカスタマイズ -値を破棄- 4.2

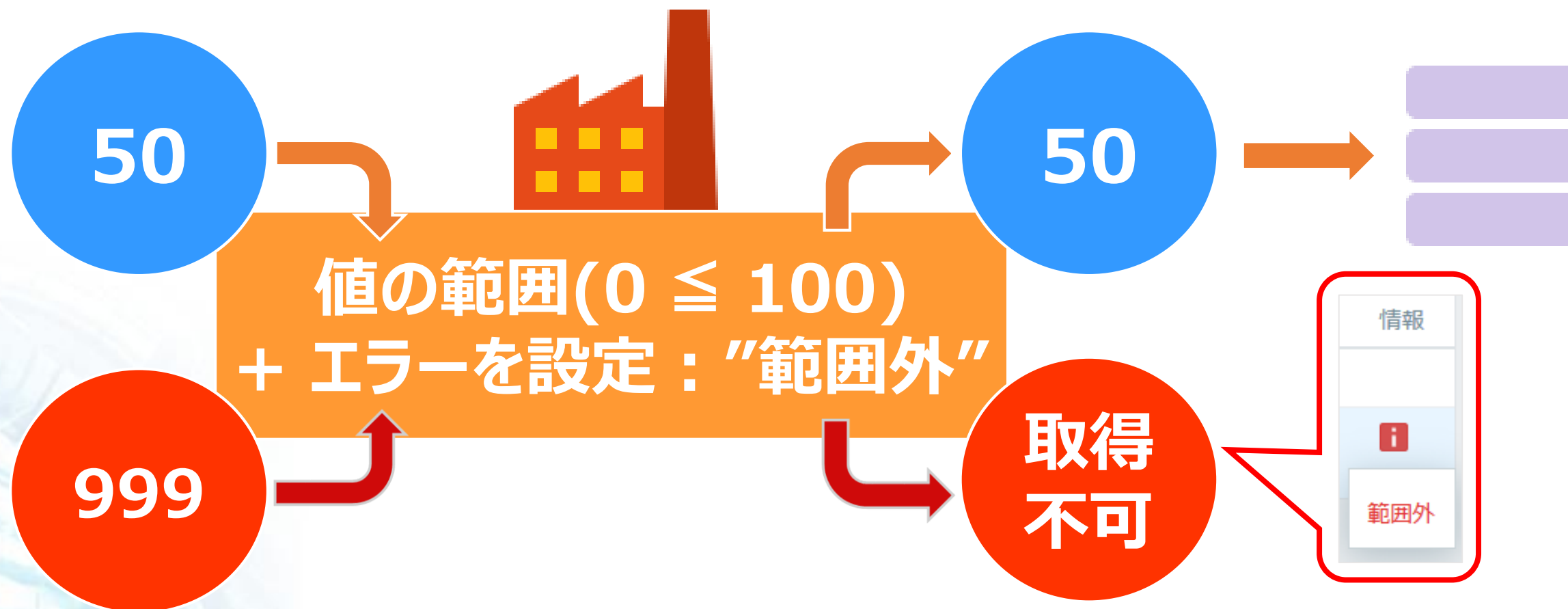


失敗時のカスタマイズ -値を設定- 4.2



失敗時のカスタマイズ -エラーを設定-

4.2



JavaScript の失敗時のカスタマイズ 4.2

保存前処理の設定	名前	パラメータ	失敗時のカスタマイズ	アクション
1: 追加	JavaScript	スクリプト	☐	テスト 削除 すべてのテスト

無効化されて選択できない

スクリプト内の if 文で同等の書き方が可能

- 値を破棄 ⇒ null を返す
- 値を設定 ⇒ 適当な値を返す
- エラーを設定 ⇒ 例外を投げる

保存前処理のその他の新機能

4.2

- フロントエンドでの保存前処理のテスト
- 各保存前処理ステップごとのエラーメッセージ表示
- Zabbix プロキシでの保存前処理のサポート

トリガー

トリガー条件式での文字列比較

5.0

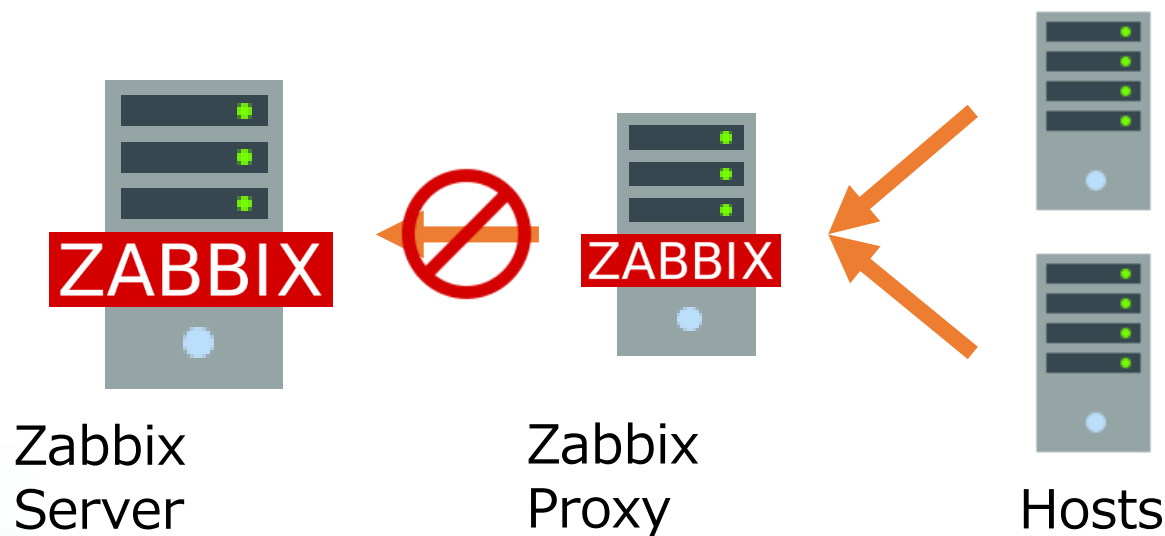
- 条件式で文字列同士の比較が
= (equal)、<> (not equal) 演算子で可能に

```
{Zabbix server:zabbix[version].last()}=5.0.0
```

```
{host:log[/var/log/messages].last()}<>  
{host:log[/var/log/messages].prev()}
```

Zabbix Proxy の可用性と nodata 5.0

- Zabbix Proxy との接続が失われた際に、回復しても nodata 関数が即座に発火しない



`nodata(sec,strict)` : Zabbix 5.0 以前と同様即座に発火

テンプレート

追加テンプレート

4.4

- **Linux**

- Template OS Linux by Zabbix agent
- Template OS Linux by Zabbix agent active
- Template OS Linux by Prom
- Template OS Linux SNMPv2

- **Windows**

- Template OS Windows by Zabbix agent
- Template OS Windows by Zabbix agent active

- **Cisco UCS server**

- Template Server Cisco UCS SNMPv2

- **Nginx**

- Template App Nginx by Zabbix
- Template App Nginx by HTTP

- **Apache**

- Template App Apache by Zabbix agent
- Template App Apache by HTTP

- **RabbitMQ**

- Template App RabbitMQ cluster by Zabbix agent
- Template App RabbitMQ node by Zabbix agent
- Template App RabbitMQ cluster by HTTP
- Template App RabbitMQ node by HTTP

- **MySQL/MariaDB**

- Template DB MySQL by Zabbix agent

- **PostgreSQL**

- Template DB PostgreSQL

追加テンプレート

5.0

- **Elasticsearch**
 - Template App Elasticsearch Cluster by HTTP
- **ClickHouse**
 - Template DB ClickHouse
- **Memcached**
 - Template App Memcached
- **MySQL**
 - Template DB MySQL by Zabbix agent 2
- **Docker**
 - Template App Docker
- **Server**
 - Template Server Chaassis by IPMI

マクロ

マクロ値のマスク

5.0

マクロ	値		説明	
{ \$MACRO }	value	T ▼	説明	削除
{ \$SECRET }		🔒 ▼	説明	削除

🔒 ^ 説明

T テキスト

🔒 隠しテキスト

一度マスクを設定すると、フロントエンド上からは値の中身は確認不可
* DB 上では平文で保存

マクロのその他の新機能

4.2

- マップのラベル、URL、URL の名前に使用できるマクロの追加

4.4

- トリガーの URL で {EVENT.ID} マクロをサポート
- ユーザマクロに説明を設定可能に

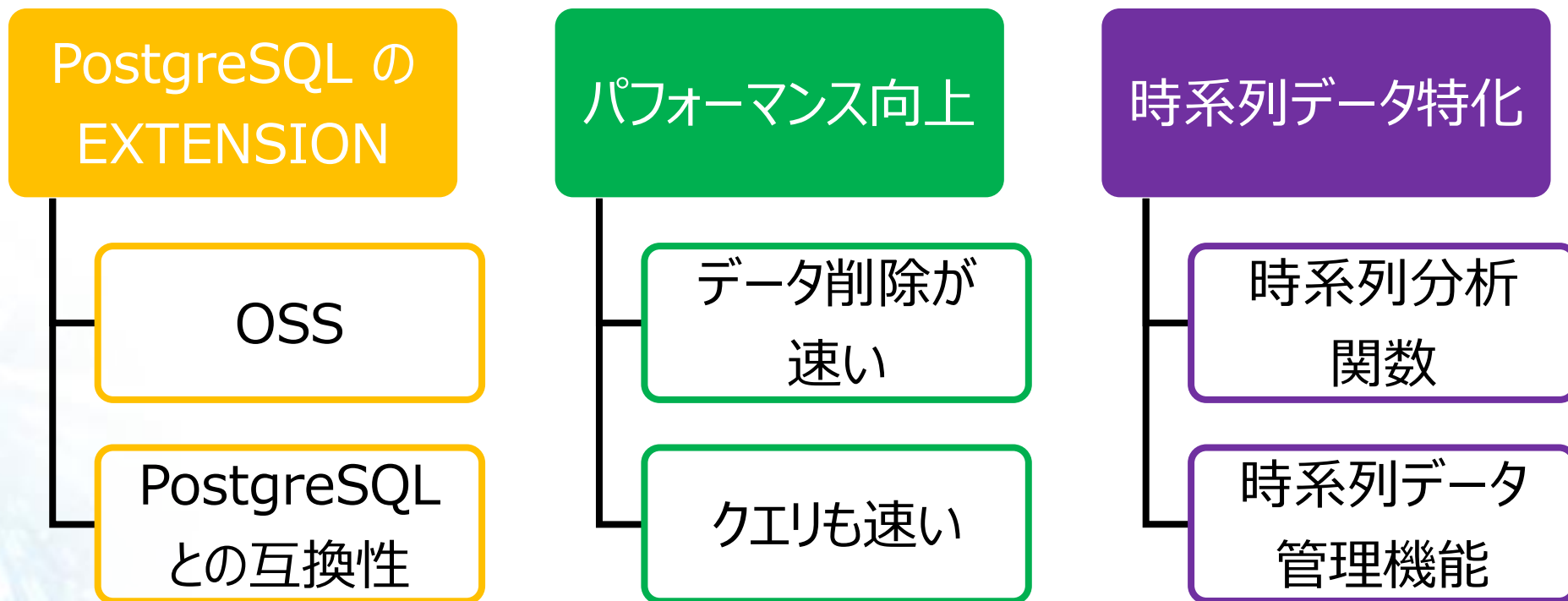
5.0

- ホストのプロトタイプでユーザマクロを設定可能に
- IPMI のユーザ名およびパスワードでユーザマクロを使用可能に
- {EVENT.DURATION}、{EVENT.TAGSJSON}、{EVENT.RECOVERY.TAGSJSON} マクロの追加
- 通知での {HOST.ID} マクロをサポート

データベース

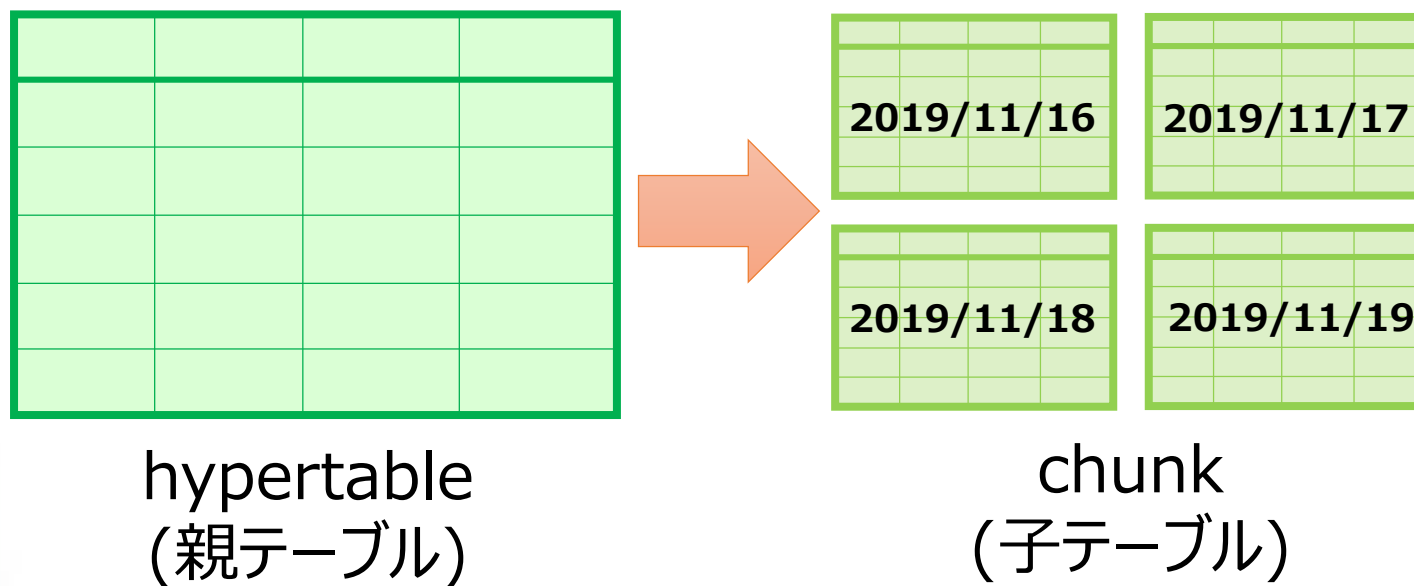
TimescaleDB のサポート 4.2

TimescaleDB とは



TimescaleDB のサポート **4.2**

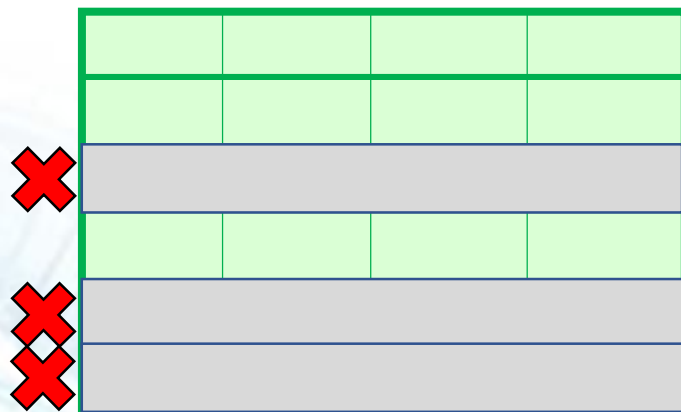
history テーブル、trends テーブルのパーティショニング



TimescaleDB のサポート 4.2

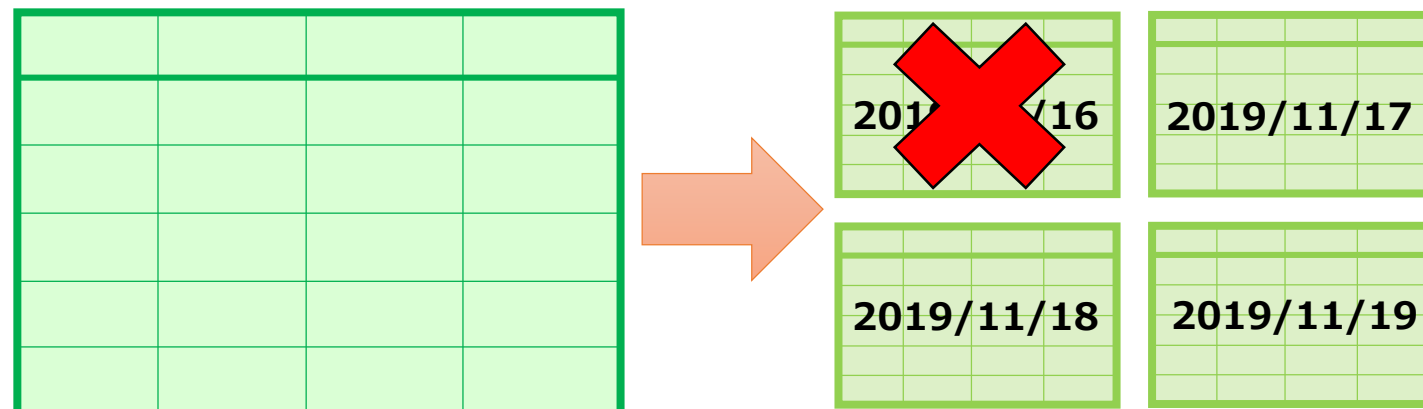
housekeeper の違い

PostgreSQL



該当行を検索して削除
不要領域回収に要 VACUUM

TimescaleDB



子テーブルごと削除
VACUUM 不要

データベースのその他の新機能

4.4

- items テーブルから一部のフィールドを item_rtdata に分離

5.0

- Elasticsearch 7 サポート
- IMB DB2 のサポート削除
- TimescaleDB のデータ圧縮機能サポート

タグ

テンプレート、ホストレベルでのタグ 4.2

ホスト

すべてのホスト / Zabbix server 有効 ZBX SNMP JMX IPMI アプリケーション 15 アイテム 108 トリガー 56 グラフ 19 ディスカバリルール 3 Webシナリオ

ホスト テンプレート IPMI タグ マクロ インベントリ 暗号化

名前	値	アクション
タグ	値	削除

追加

更新 複製 すべて複製 削除 キャンセル

テンプレート

すべてのテンプレート / Template App Apache by HTTP アプリケーション 2 アイテム 22 トリガー 5 グラフ 3 スクリーン 1 ディスカバリルール 1 Webシナリオ

テンプレート テンプレートとのリンク タグ マクロ

名前	値	アクション
タグ	値	削除

追加

更新 複製 すべて複製 削除 削除とクリア キャンセル

ディスクバリ

ディスクバリによるホスト名の指定 4.2

* チェック

Zabbixエージェント "system.uname" [変更](#) [削除](#)

SNMPv2エージェント "1.3.6.1.2.1.1.5.0" [変更](#) [削除](#)

[新規](#)

デバイスの固有性を特定する基準

☒ IPアドレス

☐ Zabbixエージェント "system.uname"

☐ SNMPv2エージェント "1.3.6.1.2.1.1.5.0"

ホスト名

☒ DNS名

☐ IPアドレス

☐ Zabbixエージェント "system.uname"

☐ SNMPv2エージェント "1.3.6.1.2.1.1.5.0"

表示名

☒ ホスト名

☐ DNS名

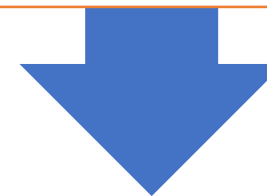
☐ IPアドレス

☐ Zabbixエージェント "system.uname"

☐ SNMPv2エージェント "1.3.6.1.2.1.1.5.0"

Zabbix 4.0 まで

DNS or IP アドレス



Zabbix 4.2以降

チェック項目から指定

JSONPath を使用した LLD マクロ

4.2

前処理 LLDマクロ フィルター

LLDマクロ	LLDマクロ	JSONPath	
	#NAME	\$.name	削除
	#FSNAME	\$.fs.name	削除

```
{  
  "name": "/dev/sda1",  
  "fs": {"name": "xfs", }  
}
```



```
{  
  "{#NAME}": "/dev/sda1",  
  "{#FSNAME}": "xfs",  
}
```

LLD のオーバーライド 5.0

Override

* 名前

test

Stop processing next overrides if matches ☐

フィルター

計算のタイプ

And/Or

ラベル

マクロ

正規表現

アクション

A

{#FSNAME}

一致する

^\tmp\$

削除

追加

実行内容

トリガー条件式

トリガーのプロトタイプ 含まない Disk space is low (used > 50%)

変更

削除

追加

追加

キャンセル

新しいディスクバリアイテム

4.4

vfs.dev.discovery : ブロックデバイスのディスクバリ

systemd.unit.discovery : systemd サービスのディスクバリ

jmx.get : JMX Bean のディスクバリ

wmi.getall : WMI のディスクバリ

5.0

ipmi.get : IPMI センサのディスクバリ

ディスカバリのその他の新機能

4.2

- 自動登録アクションでの正規表現フィルタ

4.4

- DNS 名での自動登録
- ディスカバリおよび自動登録のホスト名長が 64 文字から 128 文字に拡張

メディアタイプ°

Webhook タイプのメディアタイプ°

4.4

メディアタイプ

メディアタイプ オプション

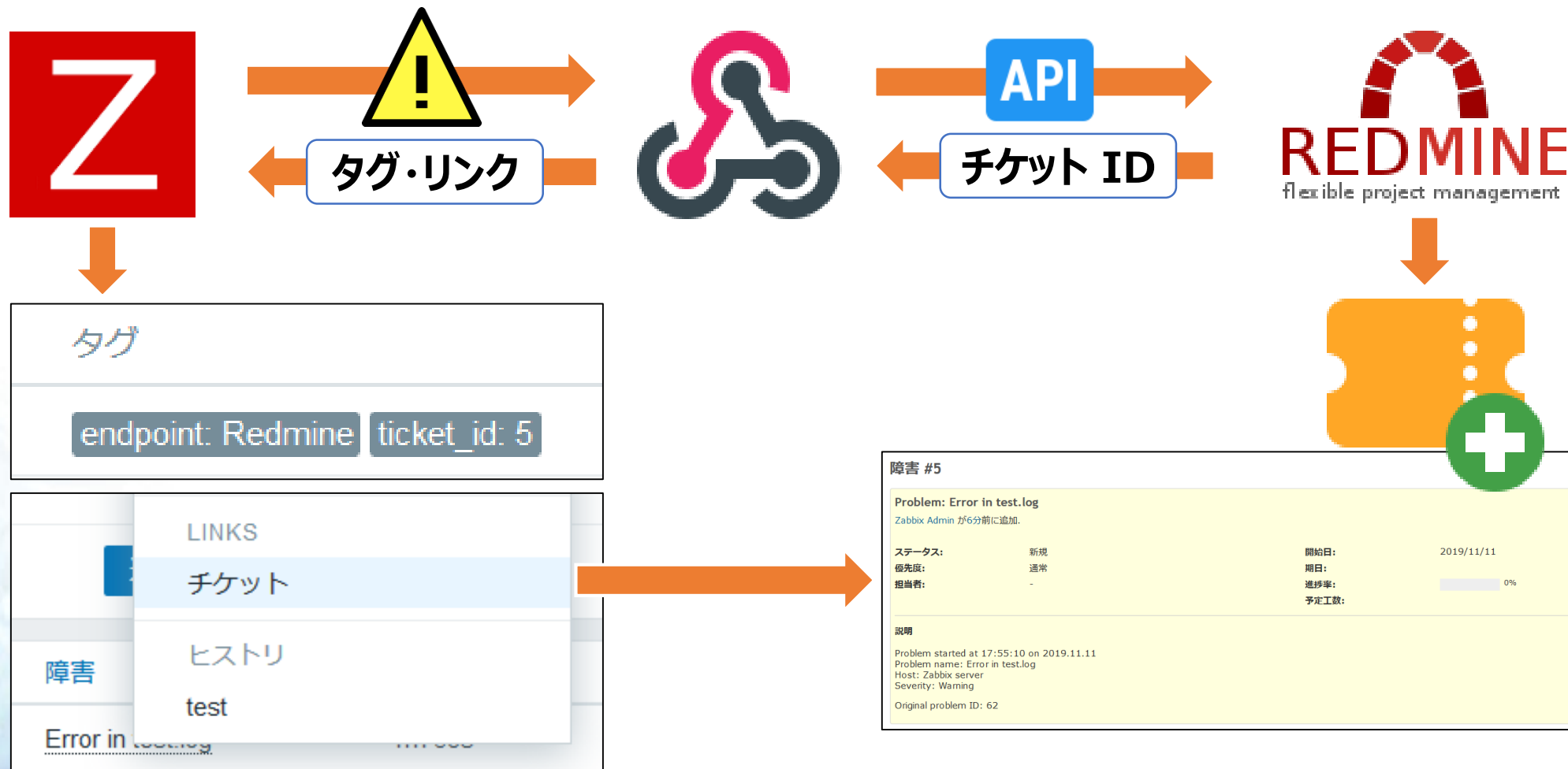
* 名前

タイプ Webhook ▼

パラメータ	名前	値	アクション
	URL		削除
	To	{ALERT.SENDTO}	削除
	Subject	{ALERT.SUBJECT}	削除
	Message	{ALERT.MESSAGE}	削除

Webhook タイプのメディアタイプ

4.4



Webhook インテグレーション 5.0

- Discord
- Jira
- Jira ServiceDesk
- Jira with CustomFields
- Mattermost
- MS Teams
- Opsgenie
- PagerDuty
- Pushover
- Redmine
- ServiceNow
- SIGNAL4
- Slack
- Telegram
- Zammad
- Zendesk

メッセージテンプレート 5.0

メディアタイプ

[メディアタイプ](#) [メッセージテンプレート](#) [オプション](#)

メッセージタイプ	テンプレート	アクション
障害	Problem started at {EVENT.TIME} on {EVENT.DATE} Probl...	変更 削除
障害復旧	Problem has been resolved at {EVENT.RECOVERY.TIME} ...	変更 削除
障害更新	{USER.FULLNAME} {EVENT.UPDATE.ACTION} problem a...	変更 削除
ディスカバリ	Discovery rule: {DISCOVERY.RULE.NAME} Device IP: {DI...	変更 削除
自動登録	Host name: {HOST.HOST} Host IP: {HOST.IP} Agent port: {...	変更 削除
追加		

アクション

[アクション](#) [実行内容](#)

* デフォルトのアクション実行ステップの間隔

1h

メンテナンス中の場合に実行を保留 ☒

実行内容

ステップ	詳細	開始時刻	継続期間	アクション
1	ユーザーグループにメッセージを送信: Zabbix administrators via 全てのメディア	すぐに	標準	変更 削除
追加				

復旧時の実行内容

詳細	アクション
障害通知送信済のユーザーすべてにメッセージを送信	変更 削除
追加	

更新時の実行内容

詳細	アクション
追加	

メディアタイプのその他の新機能

4.2

- メディアタイプのフロントエンドでのテスト機能
- Email での HTML フォーマットサポート

4.4

- Jabber、Ez Texting のサポート削除
- メディアタイプのエクスポート/インポート機能の追加

5.0

- Webhook メディアタイプのフロントエンドでのテスト機能
- Webhook に HTTP Proxy サポート
- Email のスレッドでの送信

セキュリティ

自動登録での PSK 暗号通信サポート 4.4

一般設定 プロキシ 認証 ユーザーグループ ユーザー メディアタイプ スクリプト キュー

自動登録

Encryption level ☒ 暗号なし
☒ PSK

* PSKアイデンティティ

* PSK

データベースへの TLS 接続 5.0

フロントエンドから
データベース

サーバ、プロキシから
データベース

ZABBIX

- ようこそ
- 前提条件のチェック
- データベース接続設定
- Zabbixサーバーの詳細
- インストール事前準備概要
- インストール

データベース接続設定

データベースポート

データベース名

データベーススキーマ

ユーザー

パスワード

TLS暗号化

TLSキーファイル

TLS証明書ファイル

TLS認証局ファイル

ホスト検証あり

☒

☐

0 - デフォルトのポート番号を使用

キャンセル
戻る
次のステップ

`zabbix_server.conf`, `zabbix_proxy.conf`

`DBTLSCConnect=[required|verify_ca|verify_full]`

`DBTLSCAFile=<CA 証明書ファイルパス>`

`DBTLSCertFile=<サーバ証明書ファイルパス>`

`DBTLSKeyFile=<キーファイルパス>`

`DBTLSCipher=<TLS1.2 の暗号化アルゴリズムリスト>`

`DBTLSCipher13=<TLS1.3 の暗号化アルゴリズムリスト>`

SAML 認証サポート 5.0

フロントエンドへのログインで
SAML 2.0 認証をサポート

zabbix.conf.php

```
$SSO['SP_KEY'] = '<SP キーファイルパス>';  
$SSO['SP_CERT'] = '<SP 証明書ファイルパス>';  
$SSO['IDP_CERT'] = '<IDP 証明書ファイルパス>';  
$SSO['SETTINGS'] = [<オプション>]
```

認証

認証 HTTP認証の設定 LDAP認証の設定 SAML settings

Enable SAML authentication ☒

* IdP entity ID

* SSO service URL

SLO service URL

* Username attribute

* SP entity ID

SP name ID format

Sign ☐ メッセージ
☐ Assertions
☐ AuthN requests
☐ Logout requests
☐ Logout responses

Encrypt ☐ Name ID
☐ Assertions

ログイン時に大文字小文字を区別 ☐

更新

セキュリティのその他の新機能

5.0

- ユーザのパスワードハッシュを MD5 から Bcrypt に変更
- mbedTLS (PolarSSL) のサポート削除
 - OpenSSL、GnuTLS、LibreTLS は引き続きサポート

フロントエンド

メニューのレイアウト変更 5.0

上部横レイアウトから左サイド縦レイアウトに変更

通常

ZABBIX << 検索

Global view

すべてのダッシュボード / Global view

システム情報

パラメータ	値	詳細
Zabbixサーバーの起動	はい	localhost:10051
ホスト数 (有効/無効/テンプレート)	145	1 / 0 / 144
アイテム数 (有効/無効/取得不可)	108	102 / 0 / 6
トリガー数 (有効/無効 [障害/正常])	56	56 / 0 [0 / 56]
ユーザー数 (オンライン)	2	1
1秒あたりの監視項目数(Zabbixサーバーの要求パフォーマンス)	1.42	

障害

時間	情報	ホスト	障害・深刻度	継続期間	確認済
データがありません。					

縮小

Z 検索

Global view

すべてのダッシュボード / Global view

システム情報

パラメータ

Zabbixサーバーの起動

ホスト数 (有効/無効/テンプレート)

アイテム数 (有効/無効/取得不可)

トリガー数 (有効/無効 [障害/正常])

ユーザー数 (オンライン)

1秒あたりの監視項目数(Zabbixサーバーの要求パフォーマンス)

非表示

≡ Global view

すべてのダッシュボード / Global view

システム情報

パラメータ

Zabbixサーバーの起動

ホスト数 (有効/無効/テンプレート)

アイテム数 (有効/無効/取得不可)

トリガー数 (有効/無効 [障害/正常])

ユーザー数 (オンライン)

1秒あたりの監視項目数(Zabbixサーバーの要求パフォーマンス)

障害更新の改善 5.0

- 障害名の表示
 - 複数選択の場合は選択数
- メッセージの入力可能文字数拡張
 - 256 文字から 2048 文字
- Unacknowledge の追加
 - 確認済みを未確認に戻す

障害更新

障害 /etc/passwd has been changed

メッセージ

履歴

時間	ユーザー	ユーザーの	メッセージ
2020/05/18 17:59:16	Admin (Zabbix Administrator)	✓	
2020/05/18 17:57:18	Admin (Zabbix Administrator)	✗	
2020/05/12 17:26:58	Admin (Zabbix Administrator)	✓	

範囲

☒ 選択した障害のみ

☐ 選択された障害とトリガーに関する他のすべての障害 1 イベント

深刻度の変更 ☐ 未分類 情報 警告 軽度の障害 重度の障害 致命的な障害

☒ Unacknowledge

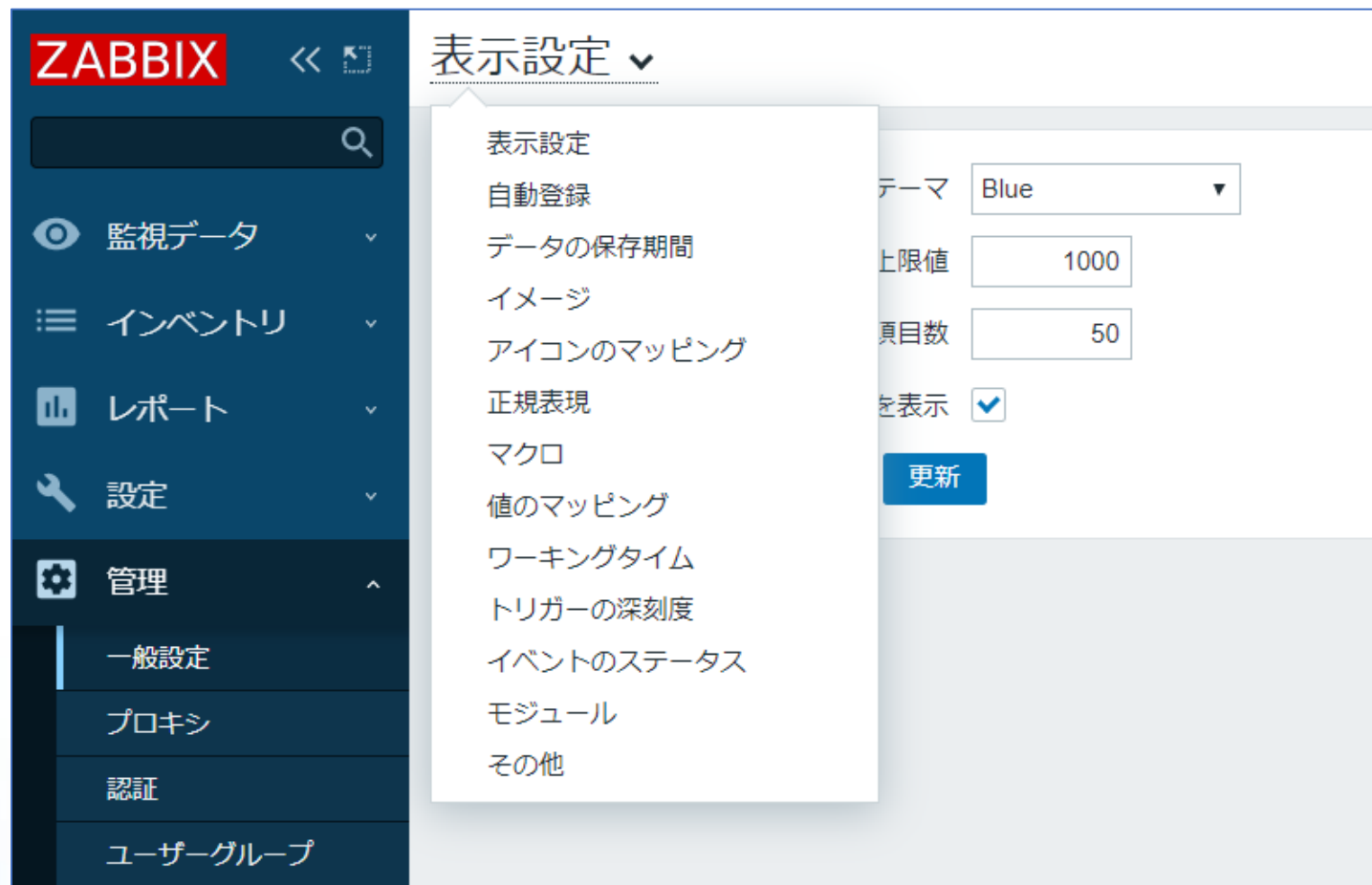
障害のクローズ ☐

* 少なくとも1つ以上の更新時の実行内容かメッセージが必要です。

更新 キャンセル

画面選択方法の変更

5.0



インターフェースでの SNMP 設定

5.0

ホスト設定

* インターフェース	タイプ	IPアドレス	DNS名	接続方法	ポート	標準
エージェント		127.0.0.1		IPアドレス	DNS	☒ 削除
SNMP		127.0.0.1		IPアドレス	DNS	☒ 削除
* SNMPバージョン		SNMPv2				
* SNMPコミュニティ		{SNMP_COMMUNITY}				
		☒ bulkリクエストを使用				

[追加](#)

アイテム設定

タイプ	SNMPエージェント
* キー	Zabbixエージェント
インターフェース	Zabbixエージェント(アクティブ)
	シンプルチェック
	SNMPエージェント
SNMP OID	SNMPトラップ
	Zabbixインターナル
データ型	Zabbixトラッパー

監視データ⇒ホスト画面

5.0

ZABBIX

監視データ

ダッシュボード

障害

ホスト

概要

最新データ

スクリーン

マップ

ディスカバリ

サービス

インベントリ

レポート

設定

管理

ホスト

名前

ホストグループ

IPアドレス

DNS

ポート

深刻度

未分類

警告

軽度の障害

重度の障害

致命的な障害

ステータス

すべて

有効

無効

タグ

And/Or

Or

タグ

含む

等しい

値

削除

追加

メンテナンス中のホストを表示

メンテナンス中の障害を表示

適用

リセット

名前 ▲	インターフェース	エージェントの状態	タグ	障害	ステータス	最新データ	障害	グラフ	スクリーン	Web
App server	127.0.0.1: 10050	ZBX SNMP JMX IPMI		1	有効	最新データ	障害 1	グラフ	スクリーン	Web
Web server	127.0.0.1: 10050	ZBX SNMP JMX IPMI			有効	最新データ	障害	グラフ	スクリーン	Web
Zabbix server	127.0.0.1: 10050	ZBX SNMP JMX IPMI		1 1	有効	最新データ	障害 2	グラフ 19	スクリーン 3	Web

3件のうち3件を表示しています

ホスト稼働状況ウィジェット 4.4

横レイアウト



縦レイアウト



深刻度ごとの障害数ウィジェットのスタイルも合わせて変更

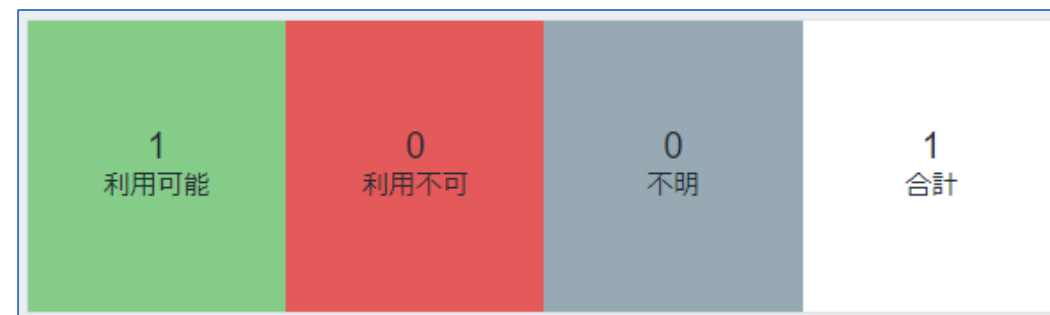
ウィジェットのヘッダ非表示 4.4

ウィジェットの変更

タイプ ホスト稼働状況 ▼

名前 デフォルト

ヘッダーを表示 ☐



*非表示でもマウスオーバでヘッダは表示

棒グラフの追加 4.4

データセット 表示オプション 期間 軸 凡例 障害 オ

データセット Zabbix server × 選択

ホストパターン

基本色 00BFFF

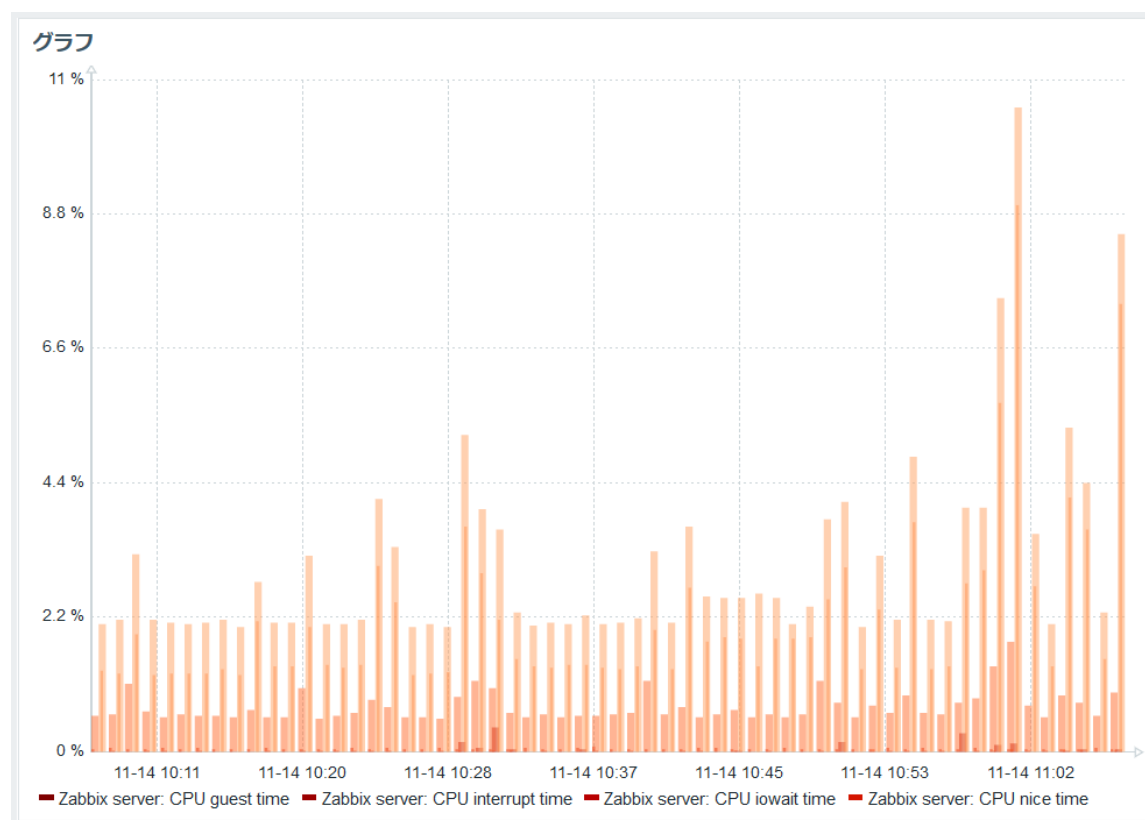
グラフの形式 線 ポイント 階段 棒

幅 1

ポイントサイズ 3

透明度 0

塗りつぶし 3



グラフでのアグリゲーション関数

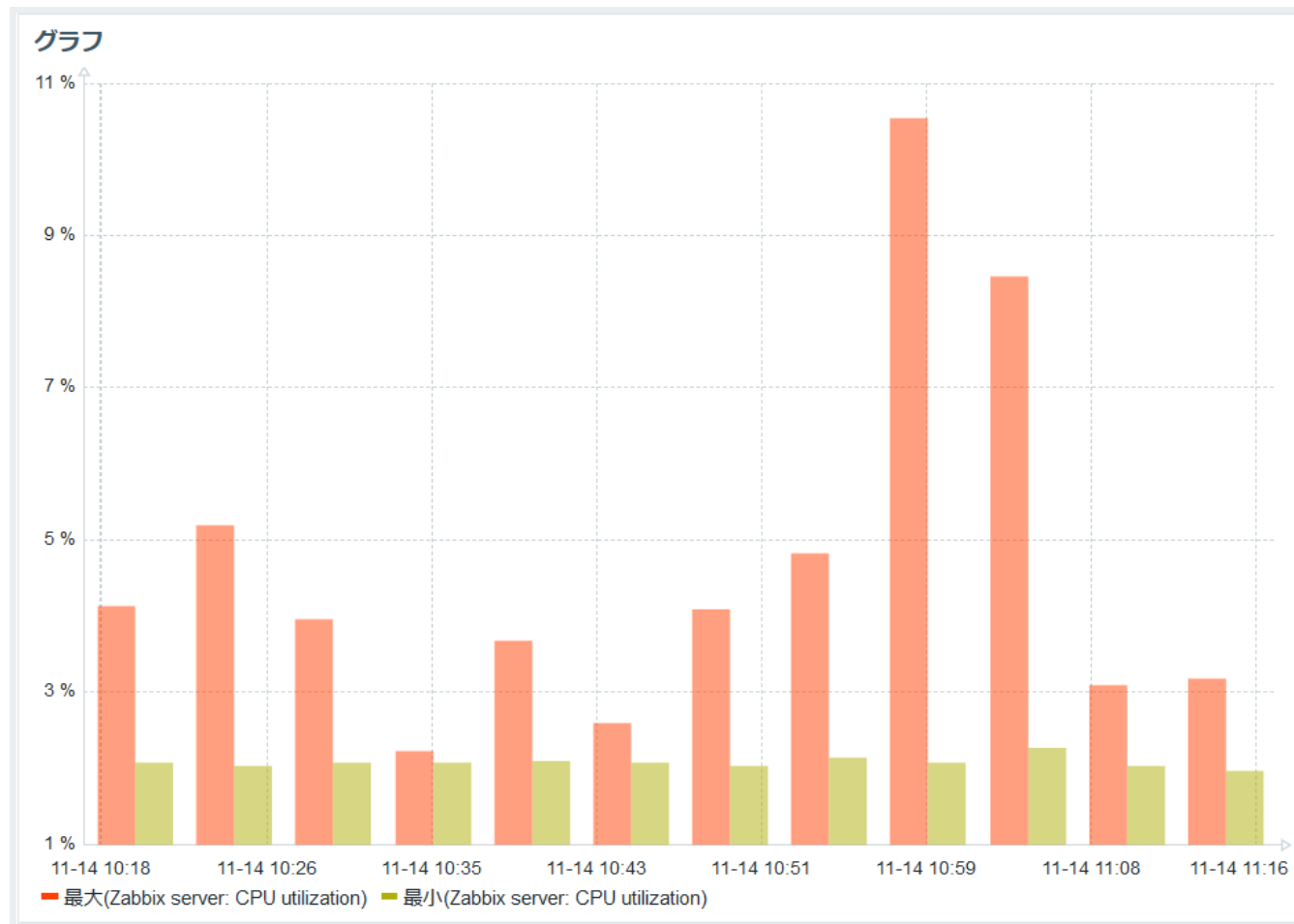
4.4

アグリゲーション関数

アグリゲーション間隔

アグリゲート

- 最小
- 最大
- 平均
- 個数
- 合計
- 第 1
- 最新値



障害画面での運用データ表示

4.4

トリガー設定

トリガー	タグ	依存関係
* 名前 High CPU utilization (over {CPU.UTIL.CRIT}% for 5m)		
運用データ Current utilization: {ITEM.LASTVALUE1}		
深刻度	未分類	情報 警告 軽度の障害 重度の障害 致命的な障害

障害画面

時間 ▼	☐ 深刻度	復旧時刻	ステータス	情報	ホスト	障害	運用データ
04:54:13	☐	警告			Zabbix server	High CPU utilization (over 90% for 5m) ?	Current utilization: 100 %
04:49:10	☐	軽度の障害	障害		Zabbix server	Load average is too high (per CPU load over 1.5 for 5m) ?	Load averages(1m 5m 15m): (6.1 5.27 2.89), # of CPUs: 1

フロントエンドのその他の新機能

4.2

- マップの GIF アニメーションサポート
- トリガー一覧画面のフィルタ項目追加
- SVG グラフのツールチップでタイムスタンプ表示
- ダッシュボードウィジェットの非破壊リサイズ / 並べ替え

4.4

- グラフのプロトタイプウィジェットの追加
- ウィジェットの最大カラム数が 12 から 24 に拡張
- トリガー条件式のフォントが等幅に変更
- 最新データ、イベント一覧画面でアイテム、トリガーの説明をツールチップ表示
- ホスト一覧画面などでプロキシの列が分離
- エクスポートファイルの構造の改善

フロントエンドのその他の新機能

5.0

- 独自モジュールによるフロントエンドの拡張
- ドロップダウンがマルチセレクトに変更
- LLD ルール一覧にフィルタ追加
- ユーザマクロ、テンプレートリンク削除が一括更新に追加
- 設定フォームがポップアップに
- 深刻度ごとの障害、障害中のホストウィジェットにタグフィルタを追加
- 深刻度ごとの障害ウィジェットに特定の深刻度でのフィルタを追加
- グラフウィジェットのスクリーンショットを PNG としてダウンロード可能
- ウィジェットのコピー & ペースト

Zabbix 5.2

2020 年 7 – 9 月リリース予定

Q&A